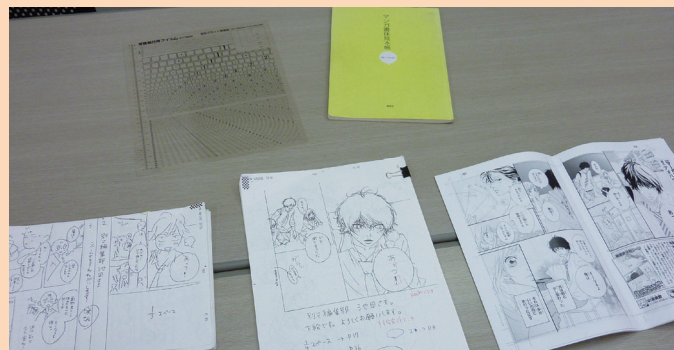




Tさんの仕事机



別冊マーガレット編集部



(上段) フォント見本・漫画書体見本帳  
(下段) 「アオハライド」のネーム・下絵・見本



本の街発信！  
別冊マーガレットに迫る

女性なら誰しもが、一度は手に取ったことがあるであろう「別冊マーガレット」。その漫画が出来上がるまでの道筋とは？編集者 Y.Tさんの視点から探ってみた。

ある」と言っていた。Tさんにとって編集者の仕事のやりがいは、編集者それぞれのモチベーションでやっているが、物語作りの一番近くにいる漫画作家のすぐそばにいられることだそう。また、主な読者層に近い登場人物の作品を作っていることから、読者にどれだけときめいてもらえるか、というのも大きなやりがいだそう。

またTさんは最後に、編集者にとって重要なスキルは、漫画作家と同様に物事をどれだけ深く考えられるか、どれだけ心に残る作品を作ることが出来るか、など精神的な部分の好奇心は編集者にとって基礎であると言っていた。漫画は自分の価値観を読者に見てもらおう場でもある。そのため、いろいろ考えなければ漫画は作れない。ひどく当たり前のことだが、今まで捉えていた漫画の世界が大きく変わったような気がした。

毎月13日発売の別冊マーガレット。青春時代を思い出しながら、もう一度読んでみてはどうだろうか。

(文・土橋、写真・土岐)

ときめく漫画作りのために

Y・Tさんは、集英社で別冊マーガレットの編集者をしている。そんなTさんに編集者の仕事ややりがい、担当している別冊マーガレットについて語ってもらった。

まず、別冊マーガレットについて伺った。マーガレットと別冊マーガレットとの相違点は、発行のタイミングだけでなく、対象年齢にもあるとのことだ。マーガレットの主な読者層は女子小中学生だが、別冊マーガレットは女子中高生を主な読者層としている。また、別冊マーガレットの付録として毎月発行される『noi』は、新人漫画作家や連載のない漫画作家の読み切り作品を載せることで、その作品に人気がつくと、連載が検討されるなど漫画作家からしても重要なものである。

次に、編集者の仕事について伺った。編集者はまず、漫画作家と物語について話し合うところから始め、ネームと呼ばれる簡易的に描かれた絵と物語が漫画作家から送られてくるのを待つ。そして再び物語の

**集英社**  
〒101-8050  
東京都千代田区一ツ橋 2-5-10  
(都営新宿線・三田線、東京メトロ半蔵門線「神保町」駅A 6出口 徒歩2分)  
URL: <http://www.shueisha.co.jp/>



別冊マーガレット sister・別冊マーガレット・ザ・マーガレット